

福山大学「こころの健康相談室」2009年度研修会

発達の問題を抱えた子ども の理解と支援にむけて

日時 2009年9月26日(土)
13:00～16:15

入場料
無料

第1部 講演(120分)

「子どもは学習や行動でなぜつまづくか
-要因分析から手立てを考える-

第2部 ワークショップ(60分)

「子どものテストから要因を分析する
-要因分析の技法-

講演内容

教育現場における実際の支援は、子どもの障害が特定されないところからのスタートとなることが多く、子どもの様子から、いかにその特徴をつかみ支援を考えるかが重要になります。そこで、子どもがなぜ学習でつまづくのか、困難の要因を考えて、そこから支援の手立てを立案するアプローチを、いろいろな実際の事例を交えながら紹介します。子どものつまづきの背景にあると考えられる発達障害との関連についてもお話します。

講師



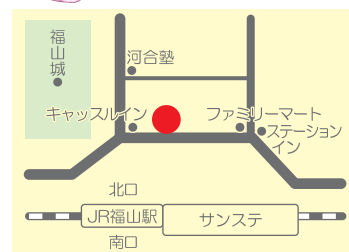
山田 充
堺市立日置荘小学校 通級指導教室「ことばの教室」

大阪府堺市立日置荘小学校において、通級指導教室「ことばの教室」を担当。加えて、堺市特別支援教育・専門家チーム・巡回相談員としても活動。また、堺LD研究会の運営委員(研究部長)として研究活動を行い、LD学会での発表も続ける傍ら、NHK教育テレビの特別支援教育のための番組「コミ☆トレ」の番組委員として番組製作に協力するなど、障害を抱えた子どもたちの支援のための各活動を展開。



場所 福山大学 社会連携研究推進センター
(宮地茂記念館) ※駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。

対象 定員100名
※どなたでも参加いただけますが、定員になり次第締め切らせていただきます。



主催(お問い合わせ): 福山大学人間文化学部心理学科附属こころの健康相談室
TEL084-936-2077 <http://www.fuhc.fukuyama-u.ac.jp/human/psychology/>
後援: 広島県教育委員会・福山市・府中市・尾道市・福山中央ライオンズクラブ・中国新聞備後本社